

倉敷アカデミックウインズ
第10回 定期演奏会

Kurashiki Academic Winds

2002年3月10日(日)

倉敷市芸文館 大ホール

共催／倉敷市文化連盟

助成／(財)福武文化振興財団

後援／倉敷市・岡山県一般吹奏楽連盟・NHK岡山放送局・山陽放送・岡山放送
山陽新聞社・朝日新聞岡山支局・岡山リビング新聞社・(株)エフエムくらしき
岡山エフエム放送株式会社・倉敷ケーブルテレビ・月刊タウン情報おかやま

本日はお忙しい中、倉敷アカデミックウインズの定期演奏会にお越しくださいまして誠にありがとうございます。

今回の定期演奏会は数えまして第10回の記念すべき定期演奏会にあたります。振り返ってみますと、第1回の演奏会を水島公民館で行なったのが昨日の事のように。あっという間の10年間でしたが、人数も足りず、やっとの思いでで開催できた演奏会が、今ではパートも人数も一通り揃い、この様な立派な会場で演奏会を開けるまでにになりました。これもひとえに皆様的一方ならぬご理解とご支援の賜物であり、団員一同心より感謝しております。

一般バンドであるがゆえに抱える悩みや苦しみを、家族や職場の皆様の協力で乗り越え、今後もこの定期演奏会のみならず、コンクールや慰問演奏、依頼演奏等地域に密着した演奏活動を通して、我々の愛する音楽の輪を広げて行きたいと考えております。これからも一層の精進をもって活動を続けて参りますので、これまで以上のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

団長 佐藤 裕史

本日は倉敷アカデミックウインズの第10回定期演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。今回は10回目という節目の演奏会を迎えることになり、全ての団員がそれぞれの感慨を胸にして演奏いたします。本日は客席の皆様にも、今までの倉敷アカデミックウインズとは一味違う演奏をお届けできると確信しております。

当団は演奏技術を向上させると共に、音楽活動を通じて団員相互の親睦を深め、地域に於いて音楽の発展を図ることを目的とする一般バンドです。ご存知のように一般バンドは主として社会人を中心に構成されるため、音楽活動を仕事や家庭の事情と両立して進めることが必要です。団員の家族や勤務先の方々には格別のご配慮をいただき、さらに団員は身を削るような努力をすることにより、我々は日々の音楽活動をここまで続けることができました。ここに厚くお礼申し上げます。

また当団が本日の定期演奏会を迎えるにあたり、今までに当団に在籍され団を盛り上げてこられた方々、ならびに吹奏楽を盛り上げようと日夜努力されている方々に重ねて厚くお礼申し上げます。

まだまだ未熟な団体ではありますが、これからも皆様に親しまれつつ、楽しい活動ができることを目指していきたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

総務 川口 和秀



Jan Van der Roost
ヤン・ヴァン＝デル＝ロースト

Mercury - Contest March
マーキュリー

Alfred Reed
アルフレッド・リード

A Little Concert Suite

演奏会用小組曲

Intrada イントラーダ

Siciliana シチリアーナ

Scherzo スケルツォ

Gigue ジーグ

Emmanuel Chabrier / Yoshitsugu Yamasaki
エマニュエル・シャブリエ / 山崎良統

España - Rhapsody for Orchestra
狂詩曲《スペイン》

* * * * *

John Philip Sousa / Mashima Toshio
ジョン・フィリップ・スーザ / 真島俊夫

The Stars and Stripes Forever
星条旗よ永遠なれ

Charles Chaplin, Sanchez Jose Padilla / Hoshide Takashi
チャーリー・チャップリン, サンチェス・ホセ・パディラ / 星出尚志

A Portrait of Charlie Chaplin

チャップリンの肖像

ナポリ行進曲 - スマイル - 花売り娘 - マンドリン・セレナーデ - ライムライト

arranged by Mashima Toshio
編曲 / 真島俊夫

The Song We Heard That Day

あの日聞いた歌

故郷 - 浜辺の歌 - 椰子の実 - 赤とんぼ - 春の小川 - 花

Hisaishi Joe / Yoshitsugu Yamasaki
久石 譲 / 山崎良統

Spirited Away - Original Sound Tracks

映画《千と千尋の神隠し》

オリジナル・サウンド・トラック より

狂詩曲《スペイン》

……………エマニュエル・シャブリエ (1841-1894)

シャブリエは19世紀の最も創意工夫に富んだ作曲家の一人であり、当時は聴衆よりも芸術家仲間が高く評価された人物で、ラヴェルやプーランクに影響を与えた純南フランス的な要素をもつ作曲家でした。

幼少からピアノを見事に弾きこなし、すでに作曲においても天賦の才能を示しつつあったにも関わらず、父親の意向で、エマニュエルは法学を学びます。そのため内務省に勤めますが、勤務するかたわら作曲は続け、39歳の時役所を退官し本格的に作曲家として音楽に専心しました。

その才能が比類ないものとはいえ、独学で音楽を学んだシャブリエはアマチュアの大家に過ぎないと考えられ、本人もそのことを大いに悩み続けたそうです。しかし狂詩曲《スペイン》は、彼に確固たる名声をもたらし、もはやアマチュア音楽家のレッテルは取り払われました。スペイン旅行の際シャブリエは、友人へ宛てた手紙にこう書いています。

「ジブシーたちはマラゲーニャを歌ったり、ホタを踊ったりする……2人か3人で組んでいるアンダルシア人が、アンダ！アンダ！アンダ！の拍子と、永遠につづくように思われる手拍子に対して、腰をひねりながら踊るのを見たことのない人は、スペインで何も見なかったも同然だ。ギターがそれ自体のリズムを追っている時、彼らは3拍子の自由なリズムをすばらしい直感によって踊る。1人が強拍を打っていると、他の踊り手は奇想的に変化を与えるので、実に不可思議なリズムの融合が起こるのだ。」

シャブリエはスペインで聞いた旋律やリズムを採譜しておいて、太陽の国スペインへの賛歌を書き上げました。それがこの作品で、マラゲーニャとホタを組み入れた情熱的なラプソディーに仕上がっています。

映画《千と千尋の神隠し》 オリジナル・サウンド・トラックより …………… 久石 譲

名画と呼ばれる映画の持つ魅力には2通りあると思います。1つは、現実から遠くかけ離れたストーリーを持つもの。もう1つは私達自身の現実に重なるストーリーを持つものです。今回の定期演奏会で私達が取り上げた『千と千尋の神隠し』はこの2つの魅力を両方兼ね備えた作品ではないでしょうか。この作品は、ご存知の様に絶大な人気を博し、国内の観客動員数の記録を塗り替えました。また、先日のベルリン国際映画賞では金熊賞に輝き、世界的にも認められた事は記憶に新しいところです。

『となりのトトロ』『風の谷のナウシカ』と言った、スタジオ・ジブリの一連のヒット作は、宮崎駿監督・久石譲音楽のコンビによって生まれた事は広く知られています。CM音楽等、映画音楽に限らず久石譲の音楽は広く長く愛されています。久石譲の作り出す音楽は、そこに台詞がなくても十分に状況を伝え、雰囲気をかもし出します。その旋律やオーケストレーションは、決して新しすぎず、でも斬新で新鮮に感じるものばかりです。

『千と千尋の神隠し』のストーリーは皆さん良くご存知だと思いますが、今回はそのオリジナル・サウンド・トラックから抜粋してお送りしたいと思います。物語の導入「あの夏へ」、両親が豚に姿を変え夜を迎えてしまう「夜来る」、ハクが現れる「竜の少年」、6本の腕で仕事をこなす釜爺と出会う「ボイラー虫」、八百万の神さまが油屋で疲れを癒す「神さま達」、静かな朝を迎える「湯屋の朝」、カオナシに立ち向かう「千の勇氣」、銭婆のところへ向かう「6番目の駅」、大事な息子が姿を消して湯婆婆が狂乱してしまう「湯婆婆狂乱」、ハクの背中に乗り湯屋へ戻る「ふたたび」、そしてテーマソングの「いつも何度でも」。

今回使用する楽譜は、久石譲氏に特別に許可をいただいて編曲したものです。昨年多くの方が足を運んだ名画『千と千尋の神隠し』の音楽を可能な限り、原曲に忠実に書き上げました。倉敷アカデミックウインズのオリジナルアレンジでお送りいたします。

(曲目解説：山崎良統)

10年間のあゆみ

- ・ 倉敷アカデミックウインズ結成 (1992.6)
- ・ 第1回 演奏会 (1993.5.30@水島公民館)
- ・ 第2回 演奏会 (1994.3.27@水島公民館)
- ・ 第3回 定期演奏会 (1994.11.6@倉敷公民館)
- ・ 第4回 定期演奏会 (1995.12.3@倉敷市芸文館)
- ・ 第5回 定期演奏会 (1997.1.19@倉敷市芸文館)
- ・ 第6回 定期演奏会 (1998.2.1@倉敷市芸文館)
- ・ 第7回 定期演奏会 (1999.2.7@倉敷市芸文館)
- ・ 第8回 定期演奏会 (2000.2.27@倉敷市芸文館)
- ・ 第9回 定期演奏会 (2001.3.11@倉敷市芸文館)
- ・ 第10回 定期演奏会 (2002.3.10@倉敷市芸文館)

平成13年度のあゆみ

- ・ 岡山県一般吹奏楽連盟バンドフェスティバル
(2001.4.15@津山文化センター)
- ・ 合宿 (2001.6.30-7.1@岡山県青少年教育センター閑谷学校)
- ・ 桃花園夏祭りにて演奏 (2001.8.4@桃花園)
- ・ 第42回 岡山県吹奏楽コンクール出場 (銀賞)
(2001.8.13@倉敷市民会館)
- ・ 第15回 団内アンサンブル大会 (2001.10.28@水島公民館)
- ・ 倉敷市民間保育所協議会主催「保育のひろば」にて演奏
(2001.11.17@ライフパーク倉敷)
- ・ 灘崎町図書館クリスマスコンサート (2001.12.9@灘崎町役場)

お知らせ

倉敷アカデミックウインズでは随時新しい仲間を募集しております。吹奏楽の経験をお持ちの方で、もう一度演奏活動をやってみようと思われる方、是非一度見学にいらして下さい。まだまだこれからというバンドですが、私たちと一緒に楽しみませんか？

- ※練習時間 毎週木曜日及び第1・3・5日曜日 18:00～22:00
- ※練習場所 倉敷市文化交流会館 大練習室
- ※お問合せ 事務局 片山佳夫 TEL 090-4104-8844
- ※公式HP URL <http://www.kaw.ne.jp/>
E-Mail kaw@kaw.ne.jp

出演者

Conductor

山崎良統

Flute&Piccolo

大元幸恵 井上千尋 岡田正美 桐竹由実 塩津 恵 原田裕美

Es Clarinet

矢尾由紀子

B Clarinet

井関由紀 兒新美里 関 文彰 高山鮎実 濱田美和 早川恵津子
水川かおり 横山弓子

Bass Clarinet

渡辺順子

Alto Saxophone

井上晃江 溝手陽子 山本祐規子

Tenor Saxophone

苅田朋子

Baritone Saxophone

坂本英子

Bassoon

八木好恵

Horn

川内美由紀 高谷麻里子 常國真吾 林 智志

Trumpet

大西賢一 片山佳夫 中山幸治 中山慶子 藤原靖彦 渡辺浩治

Trombone

岡本国芳 兼田奏恵 川口和秀 小牧崇宏 小原則行 高倉奈々

Euphonium

佐藤裕史 世戸裕子

Tuba

室山 理 矢尾哲平

Contorabass

東 展江

Percussion

古林ひとみ 林 マキ 松本祐子 渡辺麻野 浦川直子☆

Keyboard

大野智里☆

☆賛助

司会・進行

光畑圭子

第10回定期演奏会実行委員会

実行委員長 岡本国芳

実行委員 大元幸恵 川内美由紀 兒新美里 小原則行 室山 理

常國真吾 山崎良統

照 明 有限会社 オールライツ

印 刷 株式会社 興和印刷